

	<p>～安心・安全で新鮮さ抜群！！～</p> <p>都内 No.1 のキャベツ産地から「ねり丸キャベツ」をお届け！</p>
出荷開始日	平成28年10月26日(水)
<p>26日、JA東京あおば野菜流通協議会(五十嵐 宏会長)は、区内で生産した秋冬産キャベツを「ねり丸キャベツ」として市場へ初出荷した。</p> <p>同協議会では、区内で生産したキャベツを、ブランドとして売り出すため「ねり丸キャベツ」と名付けた。区の公式アニメキャラクター「ねり丸」を活用することで、販売量の拡大や消費者に親しみを持ってもらおうことがねらい。</p> <p>PRに当たっては、キャベツの出荷箱やのぼり旗、ポスターにねり丸が登場。各卸売市場に掲示し、周知を図っていく。</p> <p>この日、ねり丸キャベツをべじふるセンター練馬に初出荷した農家の井之口喜實夫さん・勇喜夫さん(高野台3丁目)は、「9月は長雨が続き、日照不足で生育が遅れたが、出来る限りの手をつくし、おいしいキャベツを作るよう心掛けた。ねり丸の出荷箱でキャベツを届けたい。」と話してくれた。</p> <p>来月には、区内小中学校の給食にも「ねり丸キャベツ」が初お目見えする予定。</p>	
 <p>ねり丸キャベツを収穫する井之口さん</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ねり丸キャベツを積み込む井之口勇喜夫さん</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ねり丸キャベツ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ねり丸キャベツ ポップ</p> </div> </div>	

【JA東京あおば野菜流通協議会について】

市場に出荷しているキャベツ農家51人で組織する団体で、今年で38年目を迎える。

かつて個々に出荷していた三農協(練馬農協・石神井農協・大泉農協)が一致協力して、前身となる「練馬三農協野菜流通対策推進事業協議会」を昭和54年に発足し、平成9年の三農協の合併に伴い「JA東京あおば野菜流通協議会」と改称されて現在に至る。

同協議会は、市場出荷を前に、生産者が集まり市場関係者から他産地の情勢報告を聞き、管内の生育状況を確認していく「出荷検討会」や、試作品種の圃場見学、意見交換、食味検討により、協議会の推奨する現行品種と、食味、玉揃い、箱詰めのしやすさなどを比較する「品種検討会」等を開催し、品質向上をめざしている。今年度は、秋冬産キャベツの「しずはま」や「藍宝」等の品種を栽培し出荷している。

今年は、台風や長雨、9月の日照不足の影響で、例年と比較して収穫時期が1週間から10日程遅れたが、昨年度と比較して59t増の約419tの秋冬産キャベツを10月から12月にかけて出荷する予定。

【学校給食での活用について】

区では、子供たちが学校給食の食材を通し、地域の自然や文化・産業等への理解を深め、生産に携わる人々の苦労にふれ、食に対する感謝の気持ちを育むことを目的に、学校給食に地場農産物を活用している。今年11月16日に、ねり丸キャベツを区立全小中学校へ届けて一斉給食を実施し、回鍋肉やポトフなどを子供たちへ提供する予定。



キャベツのスープ煮

【練馬産キャベツについて】

生産量1,973t・作付面積43.8haはいずれも都内第1位であり、都内産キャベツの20%を占めるなど、区を代表する野菜である。

【問合せ】

キャベツ全般について	練馬区 都市農業課 農業振興係	電話 03-5984-1403
学校給食での活用について	練馬区 施設給食課長 学校給食係	電話 03-5984-5736
野菜流通協議会について	東京あおば農業協同組合 地域振興部	電話 03-5910-3066